



M O R O



C C



モロッコ～ウエスタンサハラ
北アフリカの砂漠地帯へ

サーファーにとって真国の地へのサーフトリップはやめられない。でもそれが、ある種のリスクを伴うとすれば？ そんな思いを胸にしなが、クオリティアの高い波がブレイクするという北アフリカの大地へコーリン・マクフィリップス、ハーシー・イングリビー、ベン・スキナーらが向かった。

Photos & Text: MoonwakerPhotos.com





トヤカサブランカは、何処か異世界に
河に流れている。しかし、フライト
で2時間ほど西に移動するだけで、
移動すると、全ての世界に入るもの
が異なる。異変が起り、砂と岩の
み。唯一の線と音は、モロッコ「回
旋の星を巻く線はくらくら、しかし
ジャーナリストであれば、思わず手
を振り出して撮影に没頭してしまう。
ほとどのロマンティックな異変だ。辺
り一面に広がる砂漠は、絵に描いた
ように美しく、スター・ウォーカー、
ブラックキック・ダウン、ブランチ、
エーターの映画撮影が行われたのも
この地である。ここまでの話を聞いて
も驚かれない人は、申し分ない。
だがキー・ワレン、いくつかの
6日たちを聞いてもらおう。

さて、私が訪ねたモロッコ地
では、東部に目を向けると砂漠の砂
が吹き抜けては来ませんが、西
側に目を向けると、ビーチのワット
ハンダーがあり、これまで白に
映る以上の光景が広がっている。美
しいほどに輝かした海では、一瞬
サイスの海がプレイバック、ノーズ
イドやパレルのセクションが映る
のだ。コリン曰く「モロッコは
「ファン」の心だ。モロッコには
ライトハンダーのタイムトプレイク
が多数あり、西や夕日にしたの
イベントも多数あつた。クオリティ
あつた。



【左】真夜中のダクラ・エアポートに降り立ったコリンとトニー・ロイ。さて、目的地の海は？（左上から）アラブ文化の影響が強い東部/オーストラリアから参加のハーレー・イングルビーを助ける道徳とまったキャンピング（右下）世界的に有名なモロッコのライトハンダー、アンカーポイント左側）モロッコの美しいウォールを駆け抜けるコリン



政府が発表する海外危険度情報
に目を向けると、世界では安全と言
われるエリアの方が圧倒的に多い
ということに驚かす。しかし、
その情報を踏まえてもいるように
は、いつになっても海外に飛び出す
ことはできない。そこで、我々が今
回体験したトリップの話を聞いては
しい。誰も気づかずに、異変をま
れることだろう。最初のサーフポ
イント、砂漠、緑地、海、夜
……とそのサーフボードを握れ
ば足りない。

サーフ世界でライトトリップを
している、サーフインとサーフ
トリップに夢中になるのは、よく自然な
こと。私はトリップに行くチャンス
があれば、そのチャンスをおさす
逃すことはない。しかし、3週間
ルドロンゴボートキャンプのコーリ
ン・マックフィリ、フランスからの道
を歩け、ウエストマン・ハラへのトリ
ップ計画を聞かされた時には正直驚
きが出なかった。コリンと話を
せば、驚きを大げさに、その性格は控
えぬタイプ。なのに、話を聞き終
性を始めた北アフリカの砂漠地帯へ
向かいたいとは、「林がどういった心
境なのを想像できなかったのだ。

まあその長い話を聞かすまで、ど
うやらモロッコ政府が発表する海外
にたいと驚かすことなので、私も納得
して参加する運びとなった。ここで
今回のメンバーを紹介しよう。
まずは、カリフォルニアのコーリン
にトニー・ロイ、オーストラリアの
ハーレー・イングルビー、イギリス
のベン・スキナー、そして私、ルー
ンウォーカーというメンバーだ。

モロッコを旅へ向かう。見事な景
りの絶好地が広がっていた。冒険のつバ

